

栃木県教育委員会定例会会議録

令和2(2020)年12月1日(火)、栃木県教育委員会定例会を栃木県庁南別館内教育委員会室に招集した。

1 出席者（教育長及び委員）は次のとおりである。

1 番（教育長）	荒川	政利
2 番	鈴木純	美子
3 番	工藤	敬子
4 番	金子	達也
5 番	陣内	雄次
6 番	板橋	信行

2 議事に参与した職員は次のとおりである。

教育次長	北條	俊明
教育次長	中村	千浩
総務課長	伊澤	純一
施設課長	齋藤	淳学
学校安全課長	佐瀬	学二
義務教育課長	柳田	伸樹
高校教育課長	吉田	眞代
特別支援教育室長	松本美	智男
生涯学習課長	阿久津	守也
競技力向上対策室長	青井	智久
総務主幹	小平	知久
スポーツ振興課課長補佐（総括）	武藤	慶人

3 午後3時00分、教育長及び委員は全員出席しており、委員会は成立したので、教育長は定例会を開催する旨を告げた。

4 教育長は、本日の会議録署名委員に5番陣内委員を指名した。

5 教育長は、本日の議案等のうち、第2号議案、第3号議案及び第5号議案については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、会議を非公開で行いたい旨を諮ったところ、全出席者の賛成により非公開とすることに決定した。

6 教育長は、一部順番を入れ替え、審議に入る旨を告げた。

7 第1号議案 令和3(2021)年度教育委員会事務局等職員定期人事異動基本方針について

第1号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。

この議案に関して、出席者から次のとおり質問があった。

[委員]

- ・ 女性の幹部登用というところだが、あまり進んでいないように感じる。文言としてはそのとおりだと思うが、数値目標を定めるなどやっていかないと、女性の幹部職員が増えていかないのかなと心配している。もう少し具体的な方策が必要なのかなと感じている。

[事務局]

- ・ 登用に際しては、育成が大変重要となっている。教育委員会事務局でいうと、教員と行政職の職員がいる。若手や中堅の女性の割合が問題になってくるが、行政職では女性の採用が進み、4割以上となっている。それ以上の年代では、もともと人数が少ない中で、現在育成を進めているので、今後は登用も進んでいくものと考えている。今のところ、目標値の設定は難しい。人事については、知事部局と教育委員会事務局との兼ね合いがあるので、今後は知事部局と連携しながら進めていきたいと考えている。

[委員]

- ・ 多様性を組織に取り入れていくことが、今後の働き方でもひとつのワードになっていくと思う。障害者の雇用も含めて、多様性を取り込んでいただきたいと考えている。

また、メンター制度があるが、仕事面でのメンター制度も重要だと思うが、例えば、子育てをしながら働く女性や介護をしながら働く人とのメンター制度など、仕事面だけでなく、それぞれの事情に応じたメンター制度があると、働く人の不安をなくすことができ、離職率も下がっていくなど、非常に有益だと思うので、こういったメンター制度の活用も今後も引き続きやっていただけたらと思う。

[教育長]

- ・ 働きやすい環境づくりと併せて、女性の登用と多様性を生かせるような職場にしていければよいと思う。

8 第4号議案 県立学校管理規則の一部改正について
第4号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。

9 教育長は、第2号議案、第3号議案及び第5号議案については、先の決定のとおり、会議を非公開で審議する旨を告げた。

10 第3号議案 学校職員の懲戒処分について
第3号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。

11 第2号議案 令和2(2020)年度12月補正予算案について
第2号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。

12 第5号議案 特定事業契約の締結について
第5号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。

13 教育長は、以上で本日の会議を終了することを告げ、午後 3 時38分、閉会した。